

河内長野市地域公共交通会議

平成21年 5月15日設置
平成21年11月27日連携計画策定



概要

近年、車社会の影響などから公共交通利用者は減少しているが、高齢化の進行により公共交通の必要性は高まることから、持続可能な公共交通の確保が喫緊の課題である。本市の交通体系は、鉄道の主要駅である千代田駅・河内長野駅・三日市町駅周辺エリアは、都市計画マスタープランにおいて都市核と位置付けており、この都市核を中心にバス路線網が形成されている。これらの主要駅に美加の台駅を加えた4駅のエリアをモックルコミュニティバスが結んでおり、主に市役所、図書館、病院などの公共施設へのアクセス充実に図っている。本市の交通体系の基本方針は、現状の都市核に公共交通が集積している交通体系の維持・充実に図り、それぞれの都市核が交通結節点として鉄道・バスなどへ円滑に乗り継ぐことができる交通体系を目指す。

○需要に応じたバス路線の見直し

- ・日野・滝畑コミュニティバスの観光を意識した運行ルートの見直し
- ・モックルコミュニティバスの運行の見直し
- ・清見台線の運行ルートの見直し
- ・大矢船地域の南ヶ丘線、大矢船西町線の運行ルートの見直し

○公共交通空白（不便）地域の解消

- ・公共交通空白地域の解消（下里・門前・中尾地区での公共交通の試行運行）
- ・公共交通不便地域の解消（楠ヶ丘地域での公共交通の試行運行）

○公共交通の利用促進策の実施

- ・広報・ホームページなどで公共交通利用促進を実施
- ・大阪府で実施しているバスエコキャンペーンの支援

○公共交通を活用した取り組みの検討

- ・中心市街地活性化との連携
(例) 駅前商店での買物に対し、公共交通利用者への割引実施の効果などを検討
- ・観光との連携
(例) 観光資源と路線バスを活用した取り組みの効果などを検討

<基本とする交通体系>

